

## 1. 活動状況

福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座、一般財団法人脳神経疾患研究所 多発性硬化症・視神経脊髄炎センターにて勤務しております。実際の診療について総合南東北病院神経内科の状況を紹介させていただきます。

神経内科では H29 年度は山本悌司先生(神経科学研究所長、福島県立医科大学名誉教授)、久保 仁先生(第一神経内科長)、金子知香子先生(第二神経内科長)、土屋真理夫先生(医長)、松本勇貴先生(後期研修医)、藤原と初期研修医の数名の先生方が勤務してきました。このうち、土屋先生と松本先生は H30 年 4 月からは東北大学の大学院(土屋先生はてんかん科、松本先生は神経内科)に進学されました。外来診療は、菅野直人先生、平田幸一先生(独協医科大学神経内科教授)、田中恵子先生(多発性硬化症治療学講座特任教授)、また土屋先生、松本先生も診療応援をしてくださっております。私自身は、昨年度までと同様に当院での診療以外に、東北大学神経内科、いわき共立病院神経内科、東京クリニックでも外来診療も行っております。最近、MS や NMO の新規治療薬の国際共同治験にも参加することになり手続きを進めております。現在の診療上の課題としては入院診療を担う人材の確保が挙げられます。

研究面では、MS、NMO と共に最近の炎症性脱髄疾患のトピックである Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein (MOG)抗体関連神経疾患に関して大学の MS グループと共に解析を進めております。また総合南東北病院から松本先生の免疫グロブリン静注療法が急性期治療に有効だった播種性帯状疱疹を伴った NMO 症例の英文論文が publish されたことは特筆に値すると思います。

今後とも先生方のご指導、ご鞭撻をよろしく願いいたします。

(藤原一男)

2. 外来患者数 (26,566 名)
3. 退院患者数 (617 名)
4. 剖検数(2 例)
5. 論文数 (英文 15 件、和文 8 件)
6. 学会発表数 (国際 14 件、国内 3 件)
7. 講演会数 (8 件)
8. 助成金数 (2 件)

